

**平成29年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課：教育委員会事務局 生涯学習 部 図書館

1. 基本情報

1501

施設名	伊丹市立図書館南分館		
施設の設置目的	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資する。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標：未来を担う人が育つまち 施策目標：ライフステージごとに学び活躍する人づくり 主要施策：生涯にわたる主体的な学習の支援		
指定管理者の名称	公益財団法人 いたみ文化・スポーツ財団 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	来館者数・貸出冊数 (単位： 人・冊)	
	指標の意味	年間の来館者数・延べ貸出冊数	
	今年度の目標値	150,000人、380,000冊	今年度の実績値 148,977人、366,396冊

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H25	H26	H27	H28	H29(上期)	H29(通期)
	来館者数(人)		153,179	149,995	148,545	149,062	146,779	75,762
講座開催回数(回)		36	92	100	113	121	62	127
講座参加者数(人)		1,071	1,951	2,209	2,470	2,190	1,394	2,210
貸出冊数		259,651	377,344	372,830	387,229	362,383	185,767	366,396

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

〈単位:千円〉

		平成27年度(2015)	平成28年度(2016)	平成29年度(2017)	3ヶ年平均		
指定管理者の収支	収入	使用料収入	0	0	0	0	
		事業収入	0	0	0	0	
		その他	31	25	20	25	
		指定管理委託料	34,248	31,862	32,669	32,926	
		①合計	34,279	31,887	32,689	32,952	
	支出	維持管理	光熱水費	0	0	0	0
			清掃等委託料	0	0	0	0
			土地建物賃料	0	0	0	0
			修繕料	200	198	196	198
		運営	人件費	33,467	30,321	30,636	31,475
			事業等経費	1,476	1,488	1,494	1,486
			その他	0	0	0	0
			指定管理納付金	0	0	0	0
	②合計	35,143	32,007	32,326	33,159		
純収支(①-②)		△ 864	△ 120	363	△ 207		

		H24	H25	H26	H27	H28	H29
施設の管理運営に係る実質経費(市の負担)※ 〈単位:千円〉	市の収入	0	0	0	0	0	0
	(内、使用料収入)	0	0	0	0	0	0
	市の支出	38,193	38,734	40,170	41,248	38,862	39,669
	(内、指定管理委託料)	31,193	31,734	33,170	34,248	31,862	32,669
実質経費(歳出-歳入)		38,193	38,734	40,170	41,248	38,862	39,669

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	B	老朽化により施設・設備の不具合は度々起きているが、利用者の安全性と利便性を保つべく、図書館本館、ラストホールと連携して保守や修繕をおこない管理している。	A	協定書・仕様書に基づき適切に維持・管理している。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B		B	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B		B	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	専門的業務に必要な資格と経験を積んだ職員を配置しており、専門分野の研修にも積極的に参加している。	B	職員を適切に配置し、研修に参加し、資質向上に努めている。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B	B		
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	A	B		
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	財団全体で連絡網を整備済み。全館で避難訓練を実施し、その都度見直しを実施している。	B	適正に実施している。
		避難訓練を実施しているか。	A	B		
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取組みを行っているか。	A	他施設との連携も行い、多彩な行事や館内展示を企画し利用者増に努めた。利用者からの意見やトラブルは迅速に調査し、対応に取り組んでいる。	A	他施設と連携した事業を企画し利用者の増加に努めている。利用者からのご意見にも迅速に対応している。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B		B	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B		B	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B		B	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	目的にそって事業を計画し、質の高い事業ができるよう職員間で協力し取り組んでいる。	B	事業を計画的に実施している。
		施設の設定目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B	B		
	個人情報保護・情報公開への取組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	個人情報情報についてはセキュリティ運用基準を遵守。財団広報誌や館内掲示、各種読書案内、ブログなどで、積極的に発信している。	B	様々な媒体を使用し、情報発信に努めている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B	B		
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A	A		
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	予算の範囲内で適正に行っている。	B	適正に実施している。
経理処理は、適切に行っているか。		A	A			

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「－」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	目標値を越えることができなかったが、来館者及び貸出冊数は前年度に比べ着実に増加している。講座開催数及び参加者数も増加していることから地道な事業の取り組みは評価できる。
総合評価 B	

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「A」＝良好である又は成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成 30年 2月 1日 ～ 平成 30年 3月 31日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	利用されての満足度について →大変満足 (34%)、満足 (58%) 職員の接客態度について →たいへん良い (49%)、良い (41%)	満足度、接客態度とも一定の評価を得たと考えていますが、さらに満足度を高めることができるよう、職員同士が協力し努力していきます。
回答者数	おはなし会が月2回あるとうれしいです。	行事は館の状況とニーズにより決めています。が、要望を検討材料として、満足感を高めるよう努めます。
106	静かにおちついて読書ができるのでよく利用しています。	様々な人が利用されますが、読書環境の維持には特に気をつけ、気持ちの良い空間づくりをめざします。

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置